

# 中間見直しの趣旨

平成 21 年 3 月に岐阜県長期構想を策定してから 5 年が経過した。

この間、東日本大震災及びその後の原子力災害の発生、歴史的な円高、そして平成 24 年末からの円安への回帰といった経済情勢の変化や環太平洋パートナーシップ（TPP）協定交渉への参加等、策定時には想定していなかった変化が社会に起きている。

こうした変化を踏まえるとともに、岐阜県長期構想策定時の人口統計等の前提条件の検証及び構想策定から平成 24 年度までの 4 年間の政策の効果を検証し、岐阜県長期構想の中間見直しを行った。

この冊子は、現行の岐阜県長期構想は生かしつつ、中間見直しによって、新たに加えるべき政策を加え、あるいは、拡充や修正が必要となった政策を拡充・修正し、現行の構想を補完するものである。